

第22回懇話会における委員からの意見交換提案事項

[1] 食品営業施設に対する監視指導について

○食品製造工場への監視指導について

去る7月に中国の食品製造工場で、賞味期限切れの肉の使用や、床に落ちた肉をそのまま製造ラインに戻すなどの行為がテレビでも放映されていましたが、日本国内でも以前、カビの生えた米を使ってのあられの製造などがあったように、ひょっとして日本でも同じようなことがあるのではと考えてしまいます。

県内の食品製造工場での監視はどのように行われているのか教えてください。

【福原委員】

[2] 食品表示について

○県独自の食品表示Gメンについて

2014年6月4日付けの読売新聞の記事で、「とくしま食品表示Gメン」23人への任命式が3日、徳島県庁であったことが報道されました。前回の第21回でも提案しましたが、奈良県では食品表示Gメンについて、任命等に関する動き等はあるかを確認したい。

【坂上委員】

○食品表示基準案について

2014年7月3日付けの読売新聞の記事で、食品表示基準案が取り上げられています。来年6月までに施行される食品表示法の食品表示基準案に関して、県としての今後の具体的な指導方針についてお伺いしたい。

【坂上委員】

[3] (仮称) 奈良県HACCP自主衛生管理認証制度について

○奈良県HACCP自主衛生管理認証制度に関する支援等について

奈良県HACCP自主衛生管理認証制度の導入、普及活動に当たっては、奈良県として当該NPO法人とのタイアップを原則として、奈良県関係部門の横断的な指導ならびに支援を仰ぎたいと考えています。

【坂上委員】

○奈良県HACCP研究会が実施する研修会に対する後援について

奈良県HACCP研究会が実施する研修会について、奈良県食品安全・安心懇話会の後援をいただけることを以前に確認していますが、NPO法人となった現在、今後とも、奈良県食品安全・安心懇話会の後援をお願いしたいと考えています。

【坂上委員】

○NPO法人「県HACCP研究会」の活動開始に伴っての課題

「奈良県HACCP自主衛生管理認証制度」の施行を目指し、企業内指導者の養成に取り組んでいます。しかし、認証基準の適合判断を行う、いわゆる審査員に関しては未整備の状況です。

今後、奈良県とNPO法人奈良県HACCP研究会との協議により、審査員資格基準を定め、研修の実施と認定、一定期間における更新などの運用を含めた整備が必要と考えます。

【森委員】

[4] その他

○信頼のできる生産者による学校給食食材の県内供給の推進

将来を担う子どもたちに、安全安心な食材の供給をお願いしたいと思います。
地産地消の推進により、生産者の顔が見え、より安全な食材の供給に繋がるとは思いますが、県内の学校給食の状況はどのようになっていますか。

【廣井委員】